

●1日当たりの感染者数の推移(中日新聞より)



●名高速と第二環状の交差する清州JCTのすぐ近く、史跡貝殻山貝塚の敷地を拡幅し**あいち朝日遺跡ミュージアム**がオープンしました。朝日遺跡は弥生時代前期から古墳時代前期まで営まれた全国でも有数の大規模集落です。丸窓付土器や赤彩(せきさい)土器など 2,028 点が重要文化財となっています。施設ではクロスロードビジョンや弥生衣装体験、屋外展示などご家族で楽しんで頂けます。



●丸窓付土器 ●赤彩土器

加藤稲沢 市長再選

投票率 32.99%

注意 (グリーンゾーン) 10人、5%未満等	警戒 (イエローゾーン) 10人、5%等	厳重警戒 (オレンジゾーン) 新規感染者 20人、陽性率 10%等	危険 (レッドゾーン) 40人、20%等
------------------------------	----------------------------	---	----------------------------



11月定例県議会

●11月21日時点(中日新聞より)
153.7人 14.7% 319.3人 17.0人

11月27日に開会する県議会には、新型コロナウイルス感染症対策の 207 億円や人事委員会勧告による職員等の給与改定(期末手当 0.05 月 15 億円の減額)を含む一般会計補正予算 192 億余円、捺印を不要とし署名のみに改めるサービスの宣誓に関する条例の一部改正、新濃尾大橋上部工事 37 億余円の工事請負契約の締結についてなど予算関係 11、条例関係 10、その他の議案 57、計 78 議案が提出予定です。

●11月補正のコロナ対策予算は 207 億円 債務負担行為 0.1 億円

コロナ対策予算は、前年度の 2 月補正 20 億円から 6 月補正 1,160 億円、9 月補正 719 億円等に加え今回の 207 億円で総額 2,802 億円(外に債務負担行為 1,201 億円)に上ります。

1. 感染症拡大防止や医療面での対策

感染拡大防止に向けた施策や医療提供体制の更なる強化のための取組を実施

●診療・検査機関の設備支援 41.2 億円
発熱患者に対しコロナとインフルの両方の治療または検査が適切に行える県指定の診療・検査機関への設備導入補助

●PCR 検査体制の拡充 32.7 億円

— 新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力！ —

密 を避けて行動を抑制してください！

換気の悪い 多数が集まる 間近で会話や発声をする

密閉空間 密集場所 密接場面

●コロナ対策医療機関従事者慰労金 59.2 億円
6 月補正時と同様 1 人当たり 5~20 万円を支給
●愛知県医療従事者応援金

<PCR検査能力の拡充> 単位：件

	5/10時点	5/12	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末見込み
県全体	300	638	1,472	1,778	2,128	3,649	4,439
県衛生研究所	120	120	320	320	320	480	480
保健所設置市	140	140	220	220	420	568	568
民間検査機関	40	40	135	351	351	1,211	1,211
医療機関		338	797	797	797	880	880
PCR検査センター(2大学に実施委託)				90	240	510	1,300

8.6 億円(県費交付を含む)5 月補正と同様入院受入の医療機関へ応援金
●子ども食堂の感染症対策を支援 0.2 億円 安心・安全に開催できるように衛生用品等の購入費用を支援(上限 10 万円)
●避難所等の感染防止対策支援 1.6 億円

2. 県民生活への対策

県民生活への影響を最小限に抑えるため様々な対策を実施

- コロナの影響により収入が減少した世帯に対する生活福祉貸付制度による生活費用の支援 36.6 億円
- 県立学校の感染症対策や学習保障の取組の充実に 2.8 億円、タブレット端末の追加整備に 22.4 億円
- DX推進本部を司令塔に行政手続等のオンライン化への課題分析などデジタル化を加速 0.04 億円

3. 経済対策

経済活動への影響を最小限に抑えるとともに経済活動の回復や強靱な経済構造の構築への支援策を展開

- 県内企業のデジタル技術の活用促進へデジタル技術の活用状況等について調査(債務負担行為 0.08 億円)
- 中小企業等へのテレワークに関する専門家の派遣や出張相談会を追加実施 0.07 億円

●スタートアップ支援拠点整備 0.2 億円(外に債務負担行為 35 億円) イノベーションを創出する愛知県独自のエコシステムを形成するためステーション A I の推進 早期支援拠点の拡張

STEP 21 県政 REPORT



■稲沢市長選挙 2020.11. 22 執行 投票率32.99%

当 28,390 加藤錠司郎氏 現 65 歳
7,641 渡辺幸保氏



11月15日

に告示された稲沢市長選挙は現職の加藤候補が再選を果たしました。鈴木はコロナ禍の厳しい状況の中でありますので現職が引き続き対応するのがベストと考え市議会市民クラブ(木全会長)の皆さんと現職を支持、久保田選対本部長のもと副本部長として創生会(出口会長)、公明党市議団(朽本团长)の方々と選挙戦に臨みました。投票率は新人4人の激戦となった前回選の44.90%から32.99%と11.91ポイント下回り合併後最低でした。少子高齢人口減少が進む中、コロナへの対応はもとより、箱モノ建設が続かなかアフターコロナを見据えた未来へ向けての施設の統廃合、DXなどの重要課題へも真摯に向き合って頂けるものと期待しています。

今回の選挙から感染防止やスロープなどのバリアフリーの観点から投票所の見直しが行われ、前回の38投票区から7区減少して31(稲沢 25→20、祖父江 8→7、平和 5→4)となりました。投票地域、投票場所(建物)も変更された方もいて投票率が下がった一因かもしれません。商業施設・学校等や移動投票所など投票率向上に向けたハード面での対策の充実も必要です。

●連合愛知尾張南地協県政報告



県政報告の最初はコロナ関係で季節性インフルエンザの流行期に備え発熱患者等が地域の医療機関に直接電話相談の上診療・検査を受けられるよう県が指定した診療・検査医療機関稲沢は市民病院等20施設)について、街宣資料に基づいて9月議会や議会改革PT、来年度に向けた知事への提言等報告しました。

●豊橋市長選浅井よしたか氏当選



2007年県議会議員初当選同期の浅井よしたか君が4期目を目指した現職を破り豊橋市長に初当選しました。豊橋市が中心となる東三河地域は県内でも人口減少が進む地域で三遠南信地域との連携をも視野に入れた豊橋新時代を掲げる浅井新市長の頑張りに期待大です。

●宮田用水土地改良区中間監査

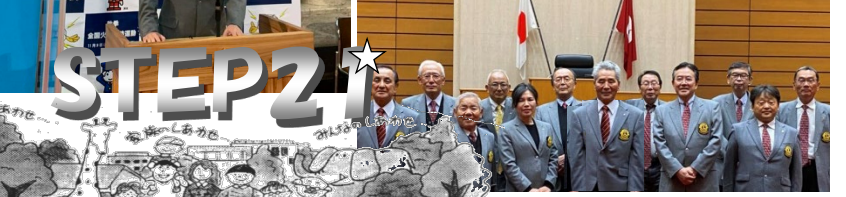


総括監事を務める宮田用水土地改良区の間中間監査を監事の皆さんと実施しました。残高証明書綴を確認したのち運営と事業の第1業務に関する事項及び会計と経理の第2会計経理に関する事項について分担して監査を行い適正なものと認めました。結果は理事会で報告し総会で承認を頂きます。

●稲沢ライオンズクラブ愛知県議会見学



鈴木が所属している稲沢ライオンズクラブ(長屋会長)の皆さんが県議会の見学に来館。議事堂はじめ知事公館、議員会館、重要文化財の県庁などをご案内しました。



遠藤明市議逝去を受けた市議補選では新人の平床健一氏が当選されました。



11月28日~12月25日 2020 稲沢イルミネーション
12月1~10日 年末交通安全市民運動
~20日 年末安全なまちづくり市民運動

校訓「誠和健智」愛知県立稲沢東高等学校の創立50周年記念式典が皆様のご努力で厳重なコロナ対策の中挙行されました。新入生は初めて校歌を聞いた(歌唱禁止)そうです。あれから1ヵ月も経たない間に第3波の襲来…コロナに負けるな…未来へつづくまちづくりへ一生懸命動きます。 愛知県議会議員 鈴木じゅん